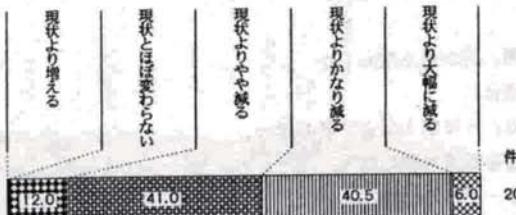


Q 2. 短大進学率

	合計	一回目調査					合計	二回目調査					
		現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る		現状より増える	現状とほぼ変わらない	現状よりやや減る	現状よりかなり減る	現状より大幅に減る	
合計	104 100.0	2 1.9	9 8.7	14 13.5	52 50.0	26 25.0	1 1.0	200 100.0	1 0.5	24 12.0	82 41.0	81 40.5	12 6.0
性別	男 100.0	96 1.0	1 8.3	13 13.5	48 50.0	25 26.0	1 1.0	184 100.0	1 0.5	20 10.9	78 42.4	74 40.2	11 6.0
年齢別	女 100.0	8 12.5	1 12.5	1 12.5	4 50.0	1 12.5	-	16 100.0	-	4 25.0	4 25.0	7 43.8	1 6.3
20才代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -
30才代	5 100.0	1 16.7	- -	2 33.3	1 16.7	2 33.3	- -	11 100.0	- -	1 9.1	1 9.1	7 63.6	2 18.2
40才代	17 100.0	- -	2 11.8	2 11.8	9 52.9	4 23.5	- -	43 100.0	1 2.3	8 18.6	17 39.5	12 27.9	5 11.6
50才代	14 100.0	- -	1 7.1	2 14.3	57 57.1	3 21.4	- -	37 100.0	- -	4 10.8	14 37.8	18 48.6	1 2.7
60才代	40 100.0	1 2.5	3 7.5	4 10.0	20 50.0	11 27.5	2 2.5	66 100.0	- -	6 9.1	32 48.5	25 37.9	3 4.5
70才代	23 100.0	- -	2 8.7	3 13.0	13 56.5	5 21.7	- -	37 100.0	- -	3 8.1	16 43.2	17 45.9	1 2.7
80才代	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
90才代	1 100.0	- -	- -	- -	100.0 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -

Q 2. 2010年における「短大進学率（浪人生含む）」はどのくらいの水準か？



第1回調査結果 現状よりやや減る【50.0%】 現状よりかなり減る【25.0%】
現状とほぼ変わらない【13.5%】 現状よりやや増える【8.7%】

「現状よりやや減る」が41.0%、「現状よりかなり減る」が40.5%と「減る」と予測した人の割合が81.5%となっている。選択肢の内容を変えたこともあるが、第1回調査で「現状よりやや増える」とした人が8.7%だったのに対し、今回の調査では「増える」と予測した人は0.5%（1名）にとどまっている。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q 2. 短大進学率（浪人含む）の水準予測

Q 2-A. 予測の理由・根拠

〔現状より増えると思う理由〕

- ・学歴に対する家庭や社会の盲目的信仰が継続するため。
- ・就職の意味では、短大卒程度が最も良いと思われるため。
- ・大学進学率の向上に歩調を合わせると思われるため。

〔現状と変わらないと思う理由〕

- ・短大生活を楽しみ、就職、結婚と考えている人は現在と変わらないため。
- ・主として、地方の短大が多様化し、学生をひきつける努力をするため。

〔現状より減ると思う理由〕

- ・短大卒業生の就職難が進むため。
- ・短大そのものが減るため。
- ・短大だけでは学力不足のため。
- ・これまで短大に進んでいたような人が、4年制大学に進むようになるため。
- ・短大卒への社会的ニーズが激減するため。
- ・短大へ進むなら、専門学校の方がその後の社会活動に有利であるため。
- ・女子の就職が本格化し、大学志向が強まるため。

Q 2-B. その結果、何が最も変わるか

〔現状より増えた場合〕

- ・短大の形式化、フリーターの一増加。
- ・大学卒業生の就職難。
- ・晩婚、少子化の進展。
- ・単純事務職希望者の減少。

〔現状より減った場合〕

- ・短大のカリキュラムと構造の変化。
- ・4年制大学と専門学校への分解。
- ・短大の統廃合。
- ・短大に占める女子比率の低下。
- ・短大入試の消滅。
- ・短大の実学志向の強化。
- ・地域の生涯学習機関としての、地域密着型短大の出現。